

－スタッフ－

役 職	スタッフ名
血液浄化センター長兼部長	坂口 俊文
医 員	小林 聡
医 員	矢野 卓郎

－概要－

尿蛋白の精査から透析患者さんのシャント管理まで、ごく初期から末期まで腎臓病の全ての加療・管理を行っております。

この1年の間でスタッフ全員当病院の業務に慣れ、昨年比で極めて効率的に仕事をこなせるようになりました。業務の増加に伴い、中断しておりました腎生検も開始し、その数も次第に増加しております。

病棟はほとんど常に満床状態です。IgA腎症、ネフローゼ症候群、急速進行性糸球体腎炎、急性腎不全の治療には特に力を注いでおります。

血液透析は透析の導入と、手術等で入院される透析患者さんの維持透析のみを行っております。腹膜透析は適応を厳しくしておりますので、導入の数は少ないですが、適応となる患者さんには積極的に勧めしております。

昨年から始めましたPTAは、当院でお受けしている情報が浸透し、近隣施設からの依頼が増加しております。一般的にシャント設置後数%の割合で、定期的なPTAが必要となりますが、当院でシャント設置手術を行い、その後定期的にPTAのため受診される患者さんも増えてまいりました。

シャント手術件数も増加しております。当院の保存期の患者さんだけでなく、シャント修復の手術もお受けしている情報が浸透し、他院の維持透析患者さんのシャント修復の依頼も増えてまいりました。

－実績－

血液透析導入	46件
PTA	119件
Blood-access手術	97件
透析室での血液透析	2,097件
ICUでの血液透析	112件